

2016年6月29日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町 2 - 4  
会社名 そーせいグループ株式会社  
(コード番号 4565 東証マザーズ)  
代表者 代表執行役社長 CEO ピーター・ベインズ  
問い合わせ先 執行役副社長 CFO 虎見 英俊  
電話番号 03-5210-3290 (代表)

## 子会社 Heptares 社、ドラッグディスカバリーのための GPCR 構造決定について 強力な新規アプローチに向けたコラボレーションを開始

当社子会社である Heptares Therapeutics (ヘプタレス・セラピューティクス、以下、「Heptares 社」と the Paul Scherrer Institute (PSI) から新たにスピンオフした leadXpro AG (以下、「leadXpro」) は、新薬のリード化合物の研究のため、G タンパク質共役受容体 (GPCR) の高解像度 X 線構造決定を目的とし、新たな手法を用いるコラボレーションを開始することを発表しました。

GPCR は創薬ターゲットの最も重要なクラスの 1 つであり、Heptares 社は GPCR をターゲットとした創薬研究において構造ベースの手法を用いる世界的なリーダーです。leadXpro は、一連の結晶化や低温電子顕微鏡 (cryo-EM) を含む生物物理学的な構造ベース手法で、GPCR やイオンチャンネル、トランスポーターのような膜タンパクをターゲットとした、画期的なリード化合物の研究と最適化に応用されています。

このたびのコラボレーションにおいて、Heptares 社は GPCR を構造的に固定化する独自のプラットフォーム技術を活用して、タンパク質の結晶形成を促進します。両社は、Swiss Light Source の高性能 X 線技術と、SwissFEL の自由電子レーザー技術における leadXpro の専門技術を活用して、これまでの X 線による結晶化技術では不可能であった結晶に対する、新規の分析手法を評価します。これらの技術の組み合わせは、創薬のための構造情報の活用を加速させることができると考えられます。

leadXpro のチーフ・エグゼクティブ・オフィサー (CEO) である Michael Henning は、次のように述べています。「Heptares 社が我々をコラボレーション先に選び、StaR®技術により生み出されたタンパク質と構造ベースドラッグデザインプラットフォームを補完する leadXpro 特有の技術能力を応用できることを嬉しく思います。シンクロトンと自由電子レーザー技術による一連の結晶化は、膜タンパク質の結晶化の新領域を切り開くことができます。leadXpro の利点は、最高度の輝度を持つ自由電子レーザーにより、微小な結晶においてもよりよい 3 次元構造結晶解析が可能となり、室温においても増強された X 線データ収集、100 倍超の冗長性を有するデータを生む能力です。このように、構造ベースドラッグディスカバリーは、解析困難であった膜タンパクを解明することができるのです。」

Heptares 社のチーフ・サイエンティフィック・オフィサーである Fiona・Marshall は次のように述べています。「leadXpro との新たなコラボレーションを開始することとても喜ばしく感じています。この画期的な技術は、従来の X 線結晶化では困難であった GPCR の結晶による構造ベースドラッグディスカバリーにとって、新たな発見につながるのではないかと期待しています。一連の結晶化と自由電子レーザー技術は、StaR®タンパク質へ応用することで、ドラッグディスカバリーにとって新たな可能性を提供する有効な技術です。このコラボレーションは、我々が GPCR 構造ベースドラッグディスカバリーの最前線に居続けるというコミットメントをさらに証明することになります。」

## <ご参考>

### Heptares 社について

Heptares 社は、広範囲のヒト疾患に関連する 375 個の受容体のスーパーファミリーである G タンパク質共役受容体 (GPCR) を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であった GPCR を標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチを使用して、同社はアルツハイマー病、統合失調症、片頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しています。

Heptares 社は新規開発候補品や技術提供について、既に Allergan 社、AstraZeneca 社、Kymab 社 MedImmune 社、MorphoSys 社、Pfizer 社、Teva 社等をはじめとする大手製薬会社やバイオテクノロジー企業と提携しています。

Heptares社はそーせいグループの100%子会社です。詳細については、[www.heptares.com](http://www.heptares.com)と[www.sesei.com](http://www.sesei.com)をご覧ください。

HEPTARESは、EU、スイス、米国と日本における登録商標です。

StaR®は、EUと日本における登録商標です。

### leadXpro AGについて

leadXproは創薬のターゲットとなる膜組織にフォーカスした最先端の研究です。次世代のリード化合物の研究並びに最適化に向け、生物物理学的かつ構造ベース手法の応用を行います。leadXproの技術プラットフォームは、従来の結晶化技術では不可能であり、解析が困難なターゲットに対しては解明することのできなかった構造ベースの創薬研究において、膜タンパクの構造決定を可能にします。膜タンパク質構造生物学に関連する知識と、シンクロトロンSwiss Light Source (SLS) やthe Free Electron Laser (SwissFEL) への高品質なアクセスによるthe Paul Scherrer Institute (PSI) の施設を活用します。X線以外の中心となる専門性は、単一粒子低温電子顕微鏡 (cryo-EM) や電子線回折 (ED) を含みます。詳細については、[www.leadxpro.com](http://www.leadxpro.com)をご覧ください。

leadXproは、EU、スイス、米国とカナダにおける登録商標です。

### そーせいグループについて

そーせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発バイオ医薬品企業です。そーせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、[www.sesei.com](http://www.sesei.com) をご覧ください。